

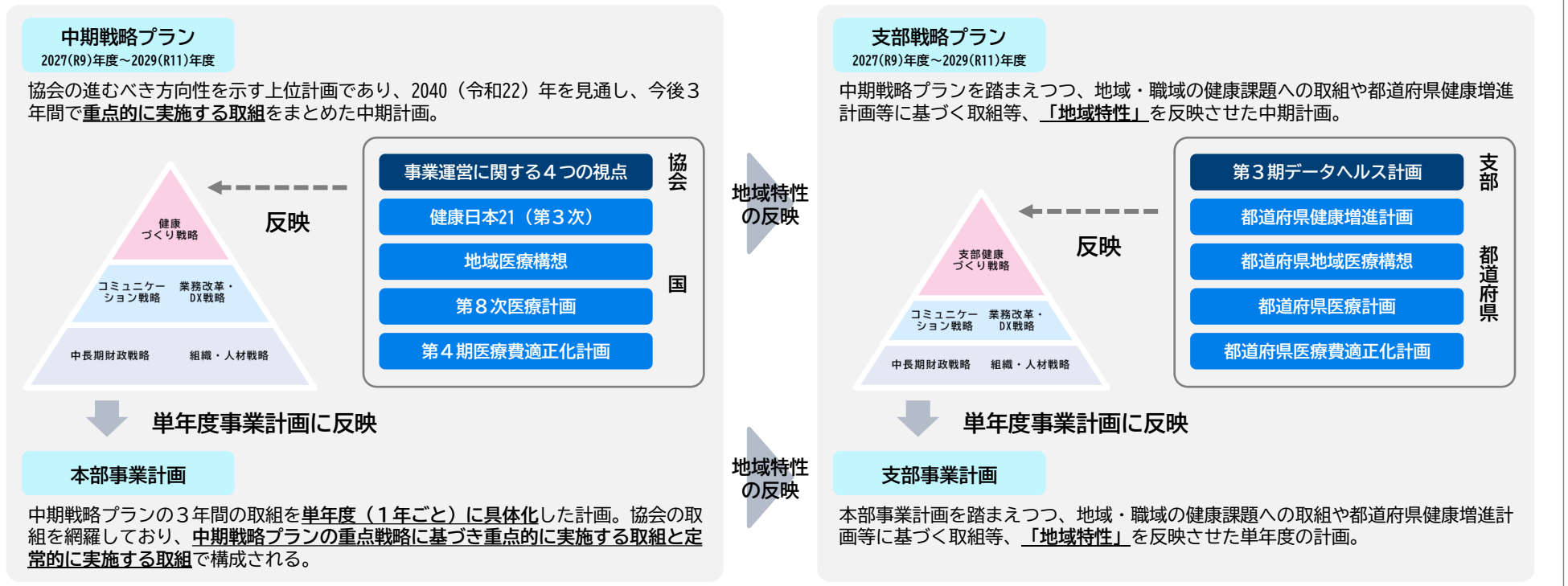
山口支部健康づくり戦略プランについて



令和 8 年 1 0 月 1 4 日
全国健康保険協会山口支部

中期戦略プラン・支部戦略プラン・事業計画の関係

- 中期戦略プランでは、5つの重点戦略に基づき、協会が重点的に実施する取組について、2040（令和22）年を見通した「戦略目標」、「3年間の戦略の概要」及び「3年間の主な取組」を定める。また、重点戦略は、毎年度の事業計画において具体的な取組の検討、実施につなげる。その際には、SDGs（持続可能な開発目標）や国際化等、幅広い視点を持って取り組む。
（※）事業計画は、中期戦略プランの重点戦略で章立てを行い、「中期戦略プランの重点戦略に基づき重点的に実施する取組」及び「定常的に実施する取組（毎年度着実な実施が求められる取組）」を定める。
- 中期戦略プランに掲げる取組が、地域の実情等を踏まえた実効性のあるものとして全国に展開できるよう、支部は支部における健康づくり戦略を基軸とする支部戦略プランを策定する。



中期戦略プラン（概要）

理念	【基本使命】 全国健康保険協会は、保険者として健康保険事業及び船員保険事業を行い、加入者の皆様の健康増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療が享受できるようにし、もって加入者及び事業主の皆様の利益の実現を図る 【基本コンセプト】 加入者及び事業主の皆様の意見に基づく自主自律の運営 加入者及び事業主の皆様の信頼が得られる公正で効率的な運営 加入者及び事業主の皆様への質の高いサービスの提供 被用者保険の受け皿としての健全な財政運営
基本方針	- 安定かつ持続可能な財政運営を維持し、健康寿命の延伸に取り組むことで、加入者・事業主の利益の実現を図る。 - 健康づくり戦略を基軸とし、健康づくり戦略を支えるコミュニケーション戦略及び業務改革・DX戦略を定め、これらの戦略の基盤となる中長期財政戦略及び組織・人材戦略を定める。 5つの重点戦略に基づき、協会が重点的に実施する取組について、2040（令和22）年を見通した「戦略目標」、「3年間の戦略の概要」及び「3年間の主な取組」を定める。また、毎年度の事業計画において具体的な取組の検討、実施につなげる。さらに、具体化した取組は、毎年度の事業報告において達成状況を検証するとともに、運営委員会の議論を通じて、「戦略目標」の達成に向けて柔軟に見直しを図る。
計画期間	2027（令和9）年度～2029（令和11）年度

重点戦略	戦略目標	3年間の主な取組
健康づくり戦略	健診、特定保健指導、重症化予防、コラボヘルス及びヘルスリテラシーの向上等を通じ、加入者の健康の保持・増進を図るとともに、加入者が良質かつ効率的な医療を享受できるよう取組を進めることにより、健康寿命の延伸を推進し、協会の理念である加入者・事業主の利益の実現を図ります。	個人の特性に応じた支援 / 健康経営の推進 / 健診の拡充 / 特定保健指導の量・質の向上 / 重症化予防の拡充 / ヘルスリテラシーの向上 / 医療提供体制の確保・充実に向けた取組 / 医療費の適正化 / インセンティブ制度の見直し
コミュニケーション戦略	協会や協会の取組への理解や関心が高まるよう、加入者・事業主とのコミュニケーションを深めていくとともに、関係機関・団体と積極的に協働できる環境を整えます。	協会や協会の取組への理解や関心の向上 / 加入者との情報共有 / 事業主等との情報共有 / 関係機関・団体との連携強化 / 国際化の推進
業務改革・DX戦略	デジタル技術を最大限に活用する等、業務プロセスを抜本的に変革し、生産性を最大化することで、高い水準のサービスを安定的に提供する環境を整えるとともに、地域・職域の特性を踏まえた取組の推進に資するデータの利活用を進めます。	業務の標準化・効率化 / サービス水準の向上 / けんぽアプリを通じたけんぽDXの実現 / 最新のデジタル技術を利用したシステムの導入 / データ分析・利活用
中長期財政戦略	中長期的視点に基づき、引き続き、安定かつ持続可能な財政運営を実施します。将来のリスクへの備えの視点を持ちつつ、適正な保険料率設定を行うことにより、安定的な財政基盤を維持します。	適正な保険料率の設定 / 準備金等のあり方
組織・人材戦略	中期戦略プランに示す重点戦略の実現に向けて、全職員が活躍できる環境を整えるとともに、重点戦略の実現に必要な体制を確保するため、「個の能力の最大化」と「組織の活力向上」を両輪で推進します。併せて、コンプライアンスの徹底とリスク管理の高度化を推進し、事業の透明性や継続性を確保します。	本部・支部間のビジョン共有 / 人材確保・人材育成 / 多様な人材が活躍できる組織づくり / コンプライアンスの徹底・リスク管理の高度化

山口支部 健康づくり戦略プラン

山口支部の優先課題（１）

◆ 新生物の一人あたり医療費（入院）が全国平均を上回る

<データからみえる課題>

- ・新生物の1人あたり医療費（入院）が全国平均を上回る。（令和6年度：14,931円（全国との差：+1,510円、全国順位8位））
- ・山口県はがん検診の受診率が低く、要治療・要精密検査率が高い。

【令和4年国民生活基礎調査】

男性 肺がん：51.6%(37位)、胃がん：44.3%(36位)、大腸がん：43.5%(43位)、

女性 肺がん：39.0%(43位)、胃がん：28.8%(46位)、大腸がん：33.0%(46位)、乳がん34.8%(47位)、子宮がん：34.9%(47位)

※対象（40（20）歳～69歳）、子宮・乳は過去2年間受診率、全国順位は受診率が高い順

【協会けんぽ山口支部の令和7年度生活習慣病予防健診（35歳以上）】

<がん検診受診率>

男性 肺がん：58.3%(33位)、胃がん：40.4%(34位)、大腸がん：54.3%(33位)、

女性 肺がん：54.0%(37位)、胃がん：29.5%(38位)、大腸がん：49.6%(37位)、乳がん：23.7%(26位)、子宮頸がん：17.5%(31位)

<がん検診の要治療・要精密検査率>

男性 肺がん：2.4%(9位)、胃がん：6.3%(5位)、大腸がん：7.5%(8位)、

女性 肺がん：1.8%(12位)、胃がん：4.7%(4位)、大腸がん：6.3%(6位)、乳がん：7.6%(5位)、子宮頸がん：3.1%(27位)

※（）は全国順位で受診率が高い順位

※ 乳がんは40歳以上の偶数年齢女性被保険者、子宮頸がんは20歳以上の偶数年齢女性被保険者が対象

山口支部の優先課題（２）

◆ 血圧のリスク保有率が全国平均を上回る

<データからみえる課題>

- ・過去5年間の血圧リスク保有率の推移をみると、男女ともに緩やかに上昇している。
（男性：令和2年度 59.6% → 令和6年度 60.1%、女性：令和2年度 40.7% → 令和6年度 41.9%）
- ・男女ともに全国平均より高く、すべての年代において全国平均を上回る。
（令和6年度 男性 山口：60.1% 全国57.5% 女性 山口：41.9% 全国：38.5%）
- ・1人あたり医療費を疾病大分類別にみると「循環器系の疾患」は令和6年度で24,013円と、疾病大分類別にみると3番目に高い。
- ・第3期データヘルス計画（R6～R11）において、高血圧（収縮期血圧）の平均値の減少を目標として掲げている。

※ 血圧のリスク保有率とは、健診受診者のうち、収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療ある方の割合。

第3期データヘルス計画（R6～R11）

◎ 6年後に達成する目標：高血圧（収縮期血圧）の平均値を3mmHg減【令和4年度127mmHg→令和11年度124mmHg】

経過：令和4年度：126.9mmHg / 令和5年度：126.5mmHg / 令和6年度126.3mmHg

（参考）健康日本21 収縮期血圧の平均値 ベースライン値から5mmHgの低下（令和6年度→令和14年度）

山口支部 健康づくり戦略（案）

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

山口支部健康づくり戦略

I) 戦略目標

加入者のヘルスリテラシーの向上や健康の保持・増進を図るとともに、健診、特定保健指導、重症化予防、コラボヘルス等の取組を通じて、以下の健康課題に取り組みます。

- ・がん医療費の抑制を図るため、がん検診の重要性の周知広報や受診率の向上に取り組みます。
- ・高血圧を予防できる生活習慣の定着を図るため、周知広報に取り組みます。

II) 戦略概要

加入者の健康の保持・増進に向けて第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づき、協会けんぽが保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、山口支部の健康課題に向けた取組を進めます。併せて「経済財政運営と改革の基本方針2026（骨太の方針2026）」を踏まえ、健康寿命の延伸に取り組みます。

特に、山口支部加入者における医療費の特徴を疾病分類別にみると、新生物の一人当たり医療費（入院）が全国と比較して高く、がん検診受診率が低いことを踏まえ、がん検診の重要性の周知広報や受診率向上に向けた取組を実施します。

また、山口支部における第3期データヘルス計画の目標に「高血圧（収縮期血圧）の平均値を3mmHg減【令和4年度127mmHg→令和11年度124mmHg】」と設定していることを踏まえ、引き続き、高血圧予防に取り組みます。

これらの山口支部加入者の健康課題の特徴を踏まえつつ、保健事業の基盤となる健診、特定保健指導、重症化予防、コラボヘルスを進めるとともに、加入者が良質かつ効率的な医療を享受できるよう、医療提供体制の確保・充実に向けた取組や医療費適正化の取組を行うことで、協会けんぽの基本理念となる加入者及び事業主の皆様の利益の実現を図ることができるよう取組を推進します。

Ⅲ）3年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[ヘルスリテラシーの向上]

- ・健康寿命の延伸を図るため、「健康やまぐち21計画（第3次）」にある生活習慣の改善（※1）や生活習慣病の発症予防・重症化予防（※2）に向けて、関係団体と連携しながら広報等の取組を推進します。

※1「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養・睡眠」「飲酒」「喫煙」「歯・口腔の健康」

※2「がん」「循環器病」「糖尿病」「COPD」「心身の健康保持による生活機能の維持・向上」

- ・特に、がんに対する正しい知識を身につけ、がん検診受診率の向上を図るため、加入者への広報を強化します。
- ・加えて、第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）に目標として掲げている高血圧対策に関して、広報の強化を図るなど、更なる取組の強化を図ります。

〔健康経営の推進〕

- ・山口支部にて実施している事業所に対する健康づくりのフォローアップについて、事業所におけるニーズや支部の健康課題を踏まえながら見直しを行い、更なる事業所の健康づくりを推進します。
- ・事業所の健康づくりを推進するため、県等の関係団体と連携して、地域の健康情報や支部の健康課題に関する情報を事業所の皆様に提供します。

〔健診の拡充〕

- ・施設型の健診機関が不足している地域や健診受診率の低い地域を中心に、検診車による山口支部主催の集団健診を実施し、受診率向上を図ります。
- ・これまで実施している山口支部主催による被保険者向けの集団健診と被扶養者向けの集団健診について、令和9年度被扶養者への健診拡大を踏まえ、効率的な実施方法を検討し、受診率の向上を図ります。
- ・山口支部にて健診の受診状況が確認できていない事業所に対して、訪問等による事業への理解と健診結果取得を促進します。

[特定保健指導の量・質の向上]

- ・ 特定保健指導の受け入れができていない事業所に対して、文書勧奨や支部幹部と保健師等による訪問により、特定保健指導の理解と導入を促進します。
- ・ 事業所において特定保健指導の受け入れができない特定保健指導該当者に対して、個別の特定保健指導勧奨による特定保健指導の実施を促進します。
- ・ 山口支部所属の保健師等と特定保健指導実施機関の指導担当者との間において、特定保健指導の質の向上を図るため、事例共有や情報交換を行う合同研修会等を実施し、特定保健指導実施件数の更なる向上を目指します。

[重症化予防の拡充]

- ・ 健診結果から医療機関の受診が必要な方に対する勧奨について、健診機関との連携を図りながら、早期の受診を促進します。
- ・ 山口支部の健康課題である高血圧について、各種広報を通じてポピュレーションアプローチを行うとともに、血圧リスクの高い事業所や団体への個別アプローチを行います。

〔個人の特性に応じた支援〕

- ・ 病気の予防や健康増進をより個人に寄り添った形でサポートし、社会全体の健康増進を支えていくため、加入者・健康保険委員の皆様にはけんぽアプリの利用を推進します。
- ・ 地域・職域や市町等の関係団体と連携して、加入者個人が有益と感じる地域の健康イベント情報や健康情報を確認できるような取組や体制づくりを検討します。

《良質かつ効率的な医療の推進》

〔医療提供体制の確保・充実に向けた取組〕

- ・ 地域医療構想調整会議や各種協議会へ参画し、当該会議の議論に活用できるような医療費分析を検討し、その結果に基づいた意見発信を行います。

〔医療費の適正化〕

- ・ ジェネリック医薬品の使用割合（数量ベース、金額ベース）の向上に向けて、データ分析結果等を活用しつつ、バイオシミラーに関する医療機関への働きかけや、地域フォーミュラの導入・運用に向けた地域の医療関係者との連携を図ります。
- ・ OTC類似薬の薬剤自己負担見直しを踏まえ、自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調を自分で手当てを行うセルフメディケーションの推進に努めます。